



スポーツ振興の拠点となる県立総合体育館（模型）

★県民スポーツの振興

健全なスポーツ活動は、県民が健康で明るい家庭を築き、豊かで活力に満ちた郷土を醸成する活力源であるとの観点から、第二次県民総スポーツ運動を更に推進します。

主要な施策としては、身近な生活圏域における実践活動や、誰でも活動に参加できる機会の提供を図っていきます。

また、スポーツ活動の定着化に必要な施設の拡充、指導者の養成、団体育成等の基盤整備を行うとともに競技力の向上に努めます。

★ファミリースポーツの振興

六百八十万円

生活の基盤である家庭内における気軽な実践活動は、家族の対話を深め、明るい家庭を築き青少年の健全育成にも効果的なものです。そこで、好ましいファミリースポーツのあり方を研究し実践するモデル市町村を設定するほか、指導者養成の講習会を実施して、その普及浸透を図ります。

★コミュニティスポーツの拡充

二千三百八十二万円

スポーツ教室の開設等を通して、日常生活を行うグループを育成し、県下十六会場では体力づくり県民大会を開催します。さらに学校体育施設の開放を促進するなど、スポーツ活動に参加できる機会の提供及び条件整備を図り、地域社会における組織的活動を推進します。

★競技力向上の対策

六千七百四十六万円

スポーツ活動の競技力向上は、活動意欲の高揚と士気を鼓舞し、スポーツ精神を涵養するうえから重要なことです。

国民体育大会等での上位入賞をめざして、中・高校生がジュニア及び成人を対象とした選手強化対策を、関係団体の協力を得て積極的に進めていきます。

★スポーツ団体の育成強化

千七十七万円

スポーツ活動の多様化、スポーツ人口の増加に対応した地域活動が円滑に推進されるためには、適切な指導、助言を行うスポーツ団体の役割は今後の大きな課題です。このため体育協会等の組織化や育成強化を促進します。

★県立総合体育館等の建設

十五億七千八百八十万円

本県における体育・スポーツの拠点となる県立総合体育館建設は、県民の期待に応えるため、昭和五十七年度の完成をめざして第二次の計画をすすめます。

また、県民総合運動公園の効果的利用を図るため、公園内に体育館を建設します。

★県民総合運動公園整備

三億九千六百三十三万円

昨年度に引き続き、ピクニック広場、園路、弓道場、駐車場等の整備を行います。



県立美術館

郷土文化の振興につきましては、県民の一人ひとりが、芸術や文化、あるいは郷土の歴史的文化遺産に接して、心の豊かさを培うような機会を提供し、積極的に文化活動に参加する体制を整えることが必要です。

このような観点から、芸術文化の振興と文化財の保護活用に重点を置いて各種事業の施策を推進することとし、県民が優れた生の芸術文化に接する機会の増大をはじめ、各種文化活動への助成や、有形・無形の文化財についての調査、保存管理を積極的に行うと同時に、文化財に対する保護意識の啓蒙普及を図ります。

★芸術文化の振興

三千百九十万円

舞台芸術に接する機会を図るため、中

央の優れた公演団体による舞台芸術公演を実施するとともに、地域における芸術文化活動の一層の推進を図るため、県移動芸術祭を県下十一会場で実施します。また、情操教育の一環として、小中学校でのスクール・コンサート、高校総合文化祭の開催等のほか、文化団体の活動を促進するための助成を行います。

★風土記の丘設置事業

二千四百七十七万円

郷土における歴史的、風土的特性をあらわす史跡などが多く存在する地域を広域的に保存することを目的とした風土記の丘建設について、菊池川流域における江田船山古墳、岩原古墳、鍋田横穴古墳等を核とした風土記の丘整備構想を策定します。

★文化財の保護と活用

一億三千七百六十二万円

祖先から引き継いだ貴重な文化遺産を保護活用するため、各種の調査及び保護管理の強化を図っておりますが、本年度から新たに江戸時代以前の古い道と、これに沿う地域に残されている歴史的遺産を総合的に整備するため「歴史の道」の調査を実施することとし、五十六年度は加藤清正時代から細川時代にかけての参勤交代路であった「清正公道」の調査に着手するほか、郷土の民俗文化財である農林漁業に用いられた生産用具の確認調査を行います。

また、文化財の所有者や市町村が行う保存整備事業等に対する助成を行い保存管理の徹底を図ります。

★美術館事業の充実

三億九千二百五十七万円

美術品収集について、美術品取得基金を活用して積極的な収集活動を行うとともに、熊本の美術館、東洋、日本美術の企画展、国際展、国内の近現代の企画展など各種展覧会を開催します。

また、絵画、彫刻などの実技講座の開設、仏教美術資料調査等を行います。

★県民文化センター建設

三十七億四千五百九十五万円

本県の魅力ある文化環境の醸成を図るとともに、地域の文化開発の拠点となる県民文化センターの建設については、総額七十億円をもって、昭和五十五年十二

月に着工し、昭和五十七年度内の完成をめざして進めておりますが、本年度は前年度に続く二年目の経費として、三十七億四千五百九十五万円を計上しました。

国際交流の促進

これからの新しい国際化社会に対応していくためには、外国を知ることによって、よりよい国際関係を築き上げていかなければなりません。

このため、県では、広い視野と国際感覚を持った人づくりや国際交流に必要な施設の整備など、国際交流の環境づくりを目指しています。

☆姉妹提携推進事業

四千二十六万円

外国との姉妹提携を推進することにより、人、物、文化など各般にわたる相互交流を、より一層積極的に推進し、県民なかでも特に次代を担う青少年の国際感覚の涵養につとめます。

☆国際交流センター調査事業

千万円

国際交流を活発に行うための拠点施設づくりについて検討するため、本年度、その規模、内容などに関し総合的調査を行い基本構想を策定します。

★海外技術協力推進事業

三千四百十二万円

開発途上国及びそれに準ずる地域から研修員として青少年を受け入れ、各種技術を習得してもらうとともに、本県の青少年との交流を図ります。